

ラプター™ テストストリップリーダー

取扱説明書：ご使用前に必ずお読みください



型番：9680（SKU No. 700002783）

本製品は日本国内のみにおける使用を想定しております。
本製品に添付の AC アダプターおよび電源コードとともにご使用ください。

ご利用にあたってのご注意

本製品を使用する前に、関連文書に含まれる全ての安全情報を熟読し、理解し、遵守してください。関連文書は大切に保管して下さい。

詳細は英文の User Manual をご参照ください。Neogen のウェブサイト [neogen.com](https://media.neogen.com/m/388b8ec380301543/) もしくは以下の URL よりダウンロード可能です。

<https://media.neogen.com/m/388b8ec380301543/>

はじめに

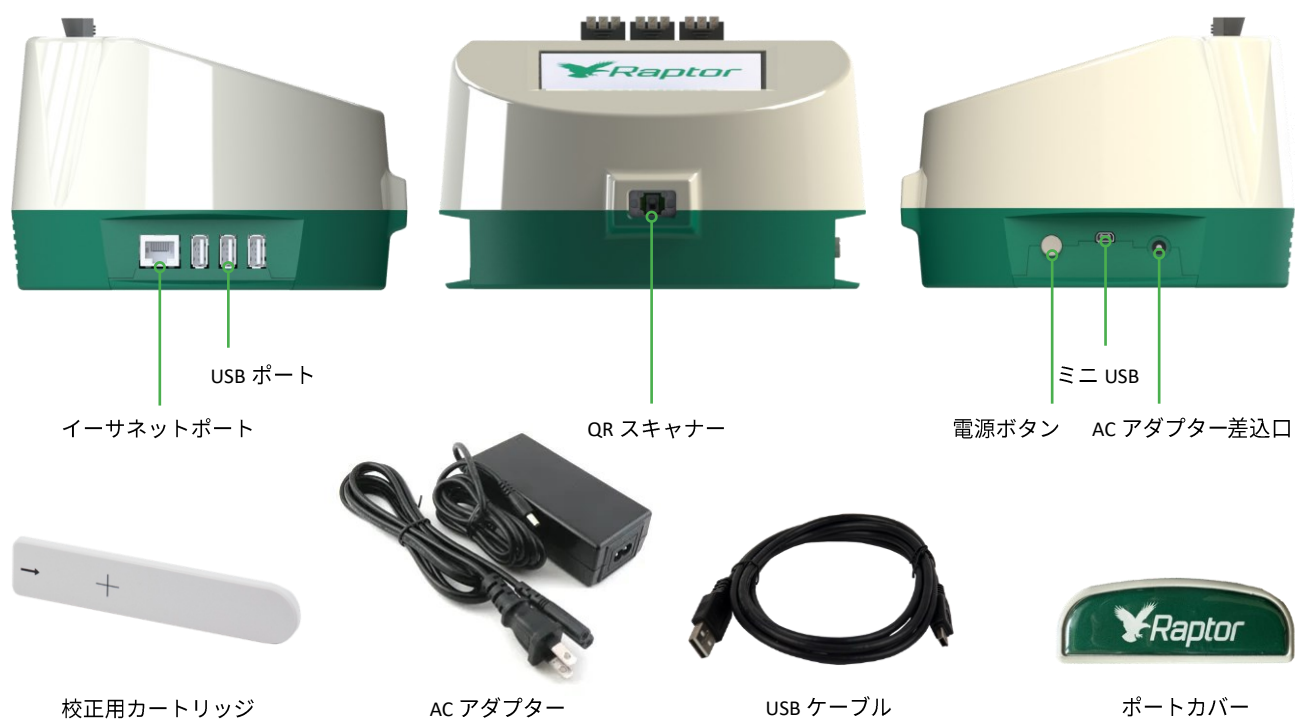
ラプター テストストリップリーダー（Raptor Integrated Analysis Platform）は、温調機能を内蔵したラテラルフローデバイス用測定装置です。本装置はネオジェンのラテラルフローデバイスを客観的に分析して結果を保存します。同一の温度と時間にて最大 3 検体を同時に分析することが可能です。

同梱品

- ・ 装置
- ・ 校正用カートリッジ
- ・ AC アダプター（日本国内用）
- ・ USB ケーブル
- ・ ポートカバー



本製品に添付の AC アダプター以外は使用しないでください。日本国内で販売された製品は日本国内のみで使用し、海外では使用しないでください。



※ 以下の別売のオプションにつきましては日本国内の取り扱いはありません。詳細につきましてはネオジェンにご連絡ください。陽性および陰性スタンダード 700002787 / ミニキーボード 700004069 / 温度計アセンブリ 700002789 / プリンター 700004067 / プリンター用紙 700004068

使用の開始

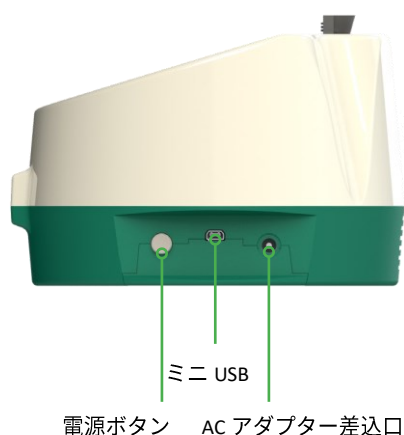
装置の電源を入れるには、電源に接続されている必要があります。

保管条件

埃のない乾燥した環境で、通常の室温で保管してください。付属のポートカバーを使用すると装置を埃から守ることができます。

装置の電源を入れる

装置の右側にある電源ボタンを押して電源を入れます。



起動時の動作確認

起動時に装置はベースライン校正の確認を行います。ここでは、カメラがカートリッジの位置と一致していることを確認します。また、照明が工場出荷時の校正設定と一致していることも確認します。検証に合格するとホーム画面が表示されます。検証に失敗した場合は失敗を示すメッセージが表示されます。その場合にはネオジェンにお問い合わせください。

コンピューターとの接続（USB）

本装置はミニ USB - 標準 USB ケーブルを使用してコンピューターに接続できます。ミニ USB コネクタを装置右側の電源ボタンと AC アダプター差込口の間に挿入します。ケーブルの標準 USB 側をコンピューターに接続します。ホーム画面で右下のコンピューターアイコンを押すとデータ転送モードに入ります。

ローカルエリアネットワークへの接続（イーサネットまたは Wi-Fi）

本装置は利用可能なイーサネットポートもしくは Wi-Fi ネットワークを介してローカルエリアネットワークに接続できます。ホーム画面で左下の Wi-Fi ボタンを押します。

データマネージャーのインストール

ラプター データマネージャーは、計測結果を保存し、装置から独立したコンピューターで表示できるソフトウェアプログラムです。詳細についてはデータマネージャーの項目を参照してください。

装置の操作

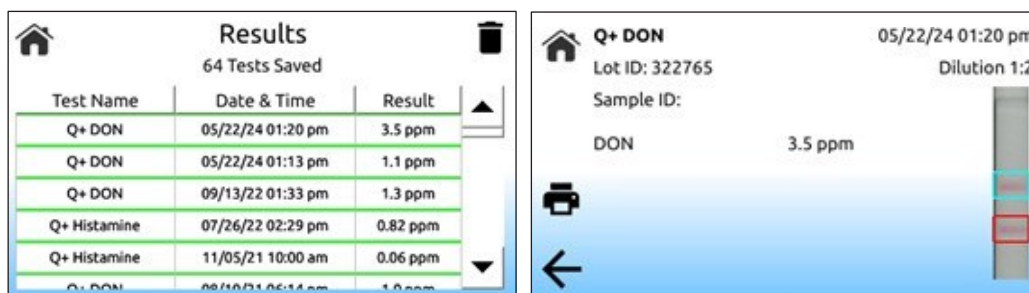


ホーム画面

ホーム画面中央の3つの大きなアイコンで、新しい計測の実行、以前の計測結果の表示、装置の設定を行うことができます。ホーム画面の周囲にあるその他のアイコンでは、ワンタッチでその他の便利な機能に簡単にアクセスできます。現在のユーザー、装置のID、現在の日時もホーム画面から確認できます。

メインメニューからさまざまな機能にアクセスできます。

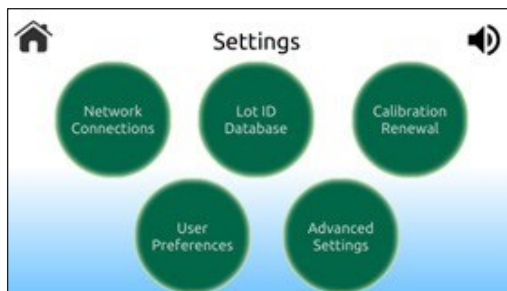
- 計測の実行 - ホーム画面の左側にある計測アイコンを選択し、画面の指示に従います。
- 結果の表示 - ホーム画面中央の結果アイコンを選択すると、完了した結果が表示されます。リストから結果を選択すると、結果の詳細が表示されます。プリンターが有効になっている場合は画面左側のプリンターアイコンを選択して結果を印刷することができます。画面左上のホームアイコンを押すとホーム画面に戻ります。



設定メニュー

ホーム画面の右側にある設定アイコンを選択し、ユーザー設定を行います。

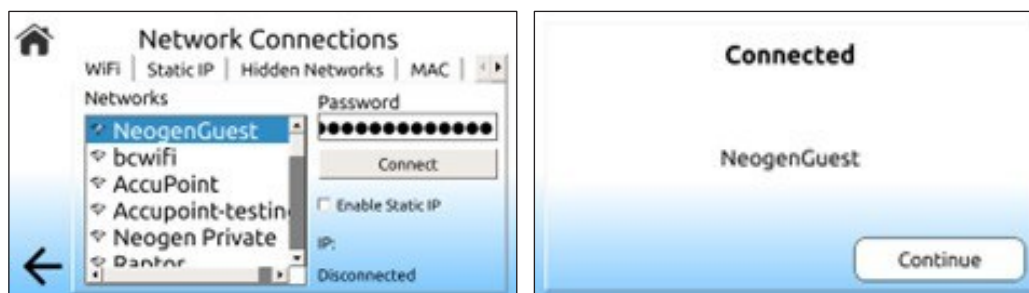
- ・ 設定画面の左上にあるホームアイコンを押すと、ホーム画面に戻ります。
- ・ 設定画面の右上にある音量アイコンを押すと、音量をオフから大まで調整できます。



ネットワーク接続

本装置はワイヤレス（WLAN）もしくはローカル（LAN）ネットワークに接続することができます。ネットワーク接続ボタンを選択します：

- ・ ワイヤレス（WLAN）ネットワークへの接続：



- メニュー左上の[WiFi]タブを選択し、利用可能な接続のリストを更新します。
 - 希望のネットワークを選択します。
 - ネットワークパスワードを入力します。
 - [Connect]を選択します。
 - 機器が接続されたら[Continue]を選択します。
 - 左上のホームアイコンを選択し、メインメニューに戻ります。左下の Wi-Fi アイコンが赤（未接続）から緑（接続）に変わります。
- ・ ローカル（LAN）ネットワークへの接続：
 - メニューから[Static IP]（静的 IP）タブを選択します。
 - IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNS の情報を入力します。
 - [Update]を選択します。

注意：ワイヤレス（WLAN）ネットワークでデータを転送することはできません。ワイヤレス接続は、本装置の

ソフトウェアとファームウェアのアップデートを可能にするためです。

The screenshot shows a 'Network Connections' screen with a home icon at the top left. Below the title, there are tabs for 'WiFi', 'Static IP', 'Hidden Networks', and 'MAC'. The 'Static IP' tab is selected. It contains four input fields: 'IP Address', 'Netmask', 'Gateway', and 'DNS'. At the bottom, there are two buttons: 'Update' and 'Clear'. A back arrow is on the left side.

ロット ID データベース

ロット ID データベースは、ロット固有の情報を保存します。

- ・ 各キットにはロット固有の QR コードがあり、ロット固有の情報がすべて含まれています。
- ・ テストストリップの計測を実行するためには、ロット情報を装置に保存する必要があります。
- ・ ロット ID 情報をデータベースに追加するには、2 つの方法があります：
 - ロット ID データベース画面から[Scan QR Code]ボタンを選択し、新しいキットのロットを装置に追加します。装置前面の QR スキャナーが起動しますので、テストストリップチューブにある QR コードをスキャンしてください。ロット固有の QR コードをスキャンするとロット情報が保存されます。再度スキャンを要求されることはありません。

The screenshot shows a 'Lot ID Database' screen with a home icon at the top left. It contains a table with the following data:

Lot ID	Test Name	Expiration
322765	Q+ DON	9/30/24
314700	Q+ Histamine	2/28/23
299893	Q+ DON	7/31/22
309697	Q+ Histamine	9/30/22
304307	Q+ Histamine	2/28/23

At the bottom, there is a back arrow and a green button labeled 'Scan QR Code'.

- 計測の実行手順の途中でロット ID 情報を追加することもできます。テストストリップをカートリッジに入れ読み取り装置にセットする際に、そのロット ID 情報がシステムに保存されていない場合には QR コードをスキャンするよう促されます。QR コードをスキャンするとその情報がデータベースに追加されます。再度スキャンを要求されることはありません。

The screenshot shows a 'Scan QR code on tube' screen with a home icon at the bottom left. It has a red header bar with the number '1'. The main text says 'Scan QR code on tube'. Below it, there are three status lines: 'Strip A: Empty', 'Strip B 322765: QR code needed', and 'Strip C: Empty'. A QR code is visible on the left side. At the bottom, there is a home icon.

校正の更新

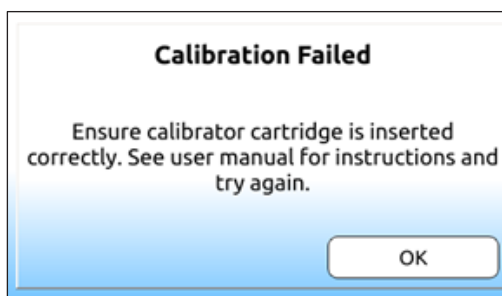
本装置は1年ごとの校正更新が必要です。1年ごとの更新は、装置の内部コンポーネントの位置校正を有効にするために行われます。本製品には、このプロセスに使用する白い校正用カートリッジが含まれています。



校正用カートリッジ

校正を実行するには：

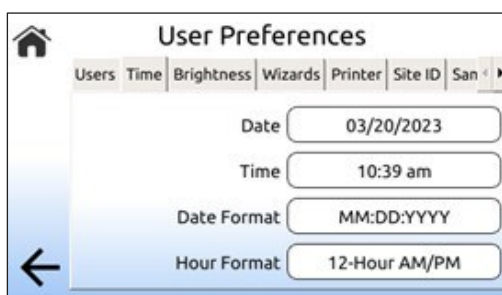
- ・ 校正用カートリッジを十字線 (+) が手前になるように装置の中央のポートに挿入します。所定の位置にセットしたら画面上の[Proceed]を押します。
- ・ 校正の実施日がリセットされ、ステータスが有効と表示されます。校正用カートリッジが正しくセットされていないと、校正失敗のメッセージが表示されることがあります。上記の手順を繰り返し、改善しない場合にはネオジェンまでご連絡ください。



ユーザー設定

ユーザー設定画面には、装置を設定するための複数のタブがあります。

- ・ ユーザー (Users) - ユーザーを追加または削除します。ユーザー名を選択して[Select]を押すと、アッセイを実行するユーザーとして反映されます。
- ・ 時刻 (Time) - 日付と時刻を設定し、会社や地域の設定に合わせることができます。計測結果に記録される時間はこの設定に基づきます。



- ・ 明るさ (Brightness) - さまざまな試験環境条件に対応できるよう、画面の明るさを調整できます。

- ・ ウィザード (Wizards) - 現時点ではこの機能は有効ではありません。



- ・ プリンター (Printer) - 自動印刷またはネットワーク印刷を有効にします。有効にすると、計測完了時に結果が自動的に印刷されます。

ラプターからの印刷結果

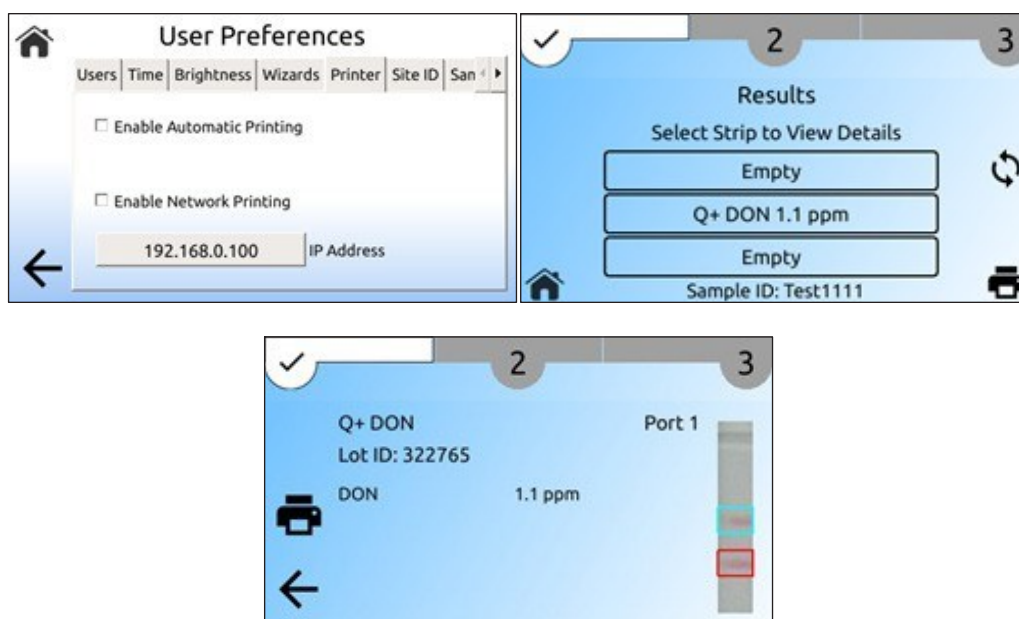
- 結果を印刷するには、互換性のあるプリンターを USB で接続する必要があります。測定結果の印刷には 2 つの方法があります：

◇ 自動印刷

- 有効にした場合、テストストリップの分析が完了した時点で、接続されたプリンターに結果が自動的に送信されます。
- プリンターが接続されていない場合、結果が印刷できなかった旨のエラーメッセージが表示されます。

◇ 手動印刷

- 計測実行後の結果ページにて画面右下のプリンターアイコンを押すと、そのアッセイの結果を印刷することができます。
- 詳細画面から結果を印刷することもできます。



- ・ サイト ID (Site ID) - 装置に関するオプションの識別情報を追加できます。例えば、Location には市町村や都道府県、Site は試験室の名称などを設定します。

The screenshot shows the 'User Preferences' screen with a home icon and a back arrow. The tabs include Users, Time, Brightness, Wizards, Printer, Site ID, and San. The 'Site ID' and 'Location ID' fields are visible, each with a 'Click to add' button.

- ・ Sample ID (検体 ID) - 1 日に実施したアッセイ数の表示 (Daily test count) や希釈係数機能 (Dilution factor) を有効にすることができます。希釈係数を使用する場合、カーブの範囲を超える結果に対してユーザーが検体の希釈倍率を入力できるようになり、希釈倍率が反映された最終結果が画面に表示され、データマネージャーに転送されます。
- ・ Unit (単位) - アッセイに関連する測定単位を地域の規制やサイトの設定に応じて PPM、PPB、または PPT として表示することができます。アッセイごとの設定が可能です。

The screenshot shows the 'User Preferences' screen with the 'Sample ID' tab selected. It includes checkboxes for 'Enable daily test counter' and 'Enable dilution factor', a 'Daily test count: 0' field, and a 'Reset count' button.

The screenshot shows the 'User Preferences' screen with the 'Unit' tab selected. It displays a table of test names and their corresponding units.

Test Name	Unit
Q+ Fumonisin	PPM
Q+ DON FGI5	PPM
Q+ MAX DON	PPM
Q+ MAX Fumonisin	PPM
DON MAX Multi	PPM

詳細設定

詳細設定の画面は、特定の機能を保護するためにパスワードが設定されています。

詳細設定にアクセスするには、パスワードを入力して[Accept]を押します。

The screenshot shows the 'Enter Password' screen. It features a numeric keypad with digits 0-9, a back arrow, and 'Cancel' and 'Accept' buttons. The password '6364' is displayed in the input field.

The screenshot shows the 'Advanced Settings' screen with three circular buttons: 'Language', 'Hardware Settings', and 'Diagnostics'. A back arrow is located at the bottom left.

- ・ 言語 (Language) - 必要な言語を選択すると、キーボードを含むすべての機能が選択した言語に設定されます。



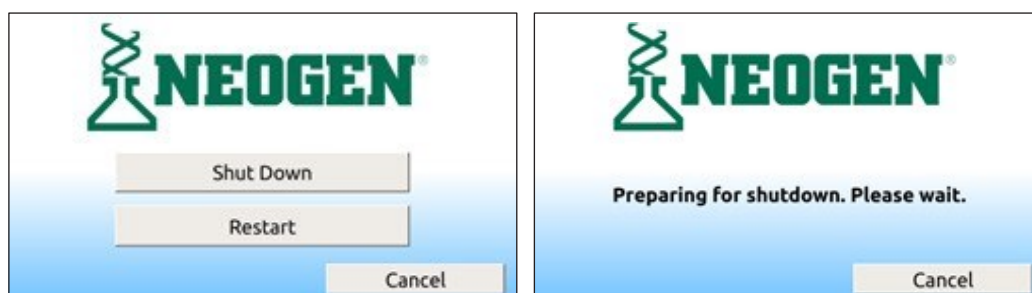
- ・ ハードウェア設定（Hardware setting） - これらの設定はさらにパスワードで保護されており、テクニカルサポート担当者がアクセスできるようになっています。
- ・ 診断（Diagnostics） - ヒーターテストにアクセスするために使用します。診断の 2 番目のタブは工場出荷時設定をリセットするため、テクニカルサポート担当者の指示がある場合のみ使用してください。

USB データ転送

装置をコンピューターに接続すると、結果をデータマネージャーに転送することができます。画面右下のコンピューターアイコンを選択し、処理を開始します。

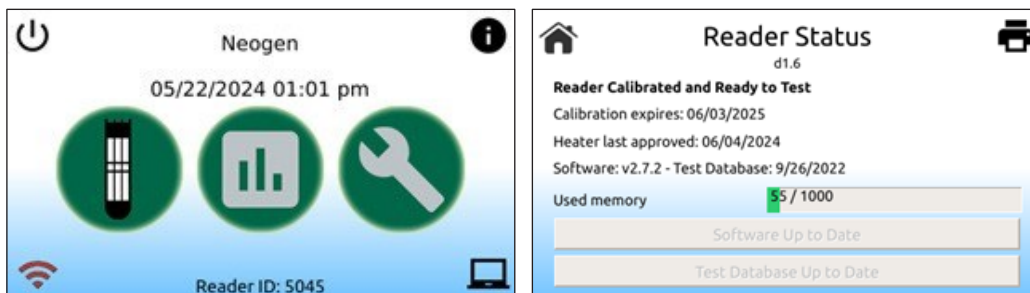


- ・ 装置の ID（Reader ID） - データマネージャーの報告書で装置を識別できます。
- ・ ネットワーク接続 - 本装置は Wi-Fi に対応しており、リモートアップデートやデータ転送が可能です。
- ・ オペレーティングシステムの電源ボタン - ホーム画面の左上にある電源アイコンを選択すると、システムがシャットダウンの準備をします。
 - Shut Down（シャットダウン）または Restart（再起動）を選択します。計測を終了する際には、画面の指示に従って装置を適切にシャットダウンしてください。





- ・ 装置の情報 - ホーム画面の右上にあるアイコンを選択すると、装置の現在のステータスにアクセスできます。

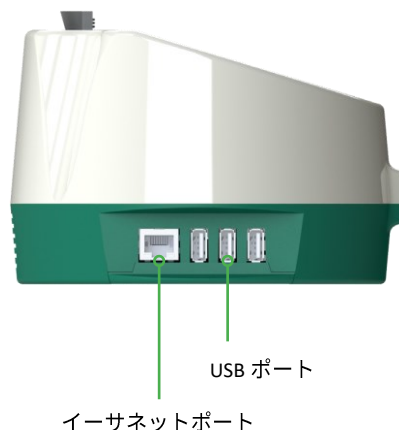


装置のアップデート

新しい機能、アッセイ、計測情報が追加される場合、ソフトウェアと計測データベースの更新が必要です。装置のアップデートはワイヤレスまたは USB フラッシュドライブで行うことができます。

USB アップデート

- ・ 装置の左側にある利用可能な USB ポートに、アップデートの入った USB フラッシュドライブを差し込みます。



- ・ USB ドライブは装置にスキャンされます。
- ・ より新しいアップデートが確認された場合、差し込まれた USB ドライブに含まれるファイルに応じて、ソ

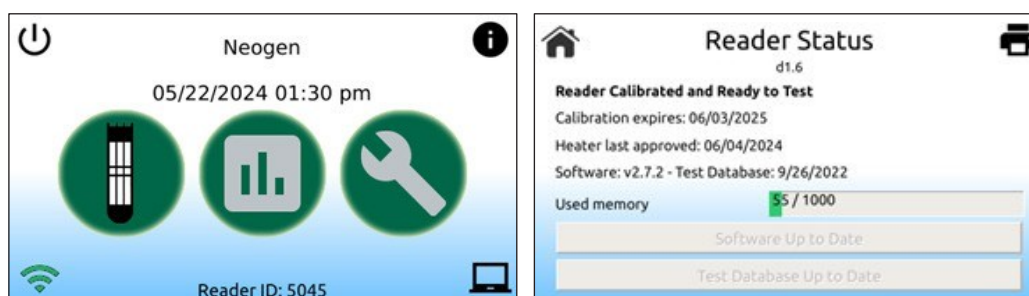
ソフトウェアと計測データベースの両方を更新するためのボタンが表示されます。

- ・ 画面上のボタンを選択し、各アップデートをインストールします。（アップデートされると、選択項目はグレースアウトします。）



ネットワーク・アップデート

- ・ 本装置がネットワークに接続されていることを確認します。左下のアイコンは緑色になります。
- ・ 装置は Neogen File Transfer Protocol (FTP) サーバーに連絡してアップデートを確認します。
- ・ 新しいアップデートが利用可能な場合、アップデート用のボタンが表示されます。
- ・ 画面上の利用可能なボタンを選択して、それぞれをインストールします。



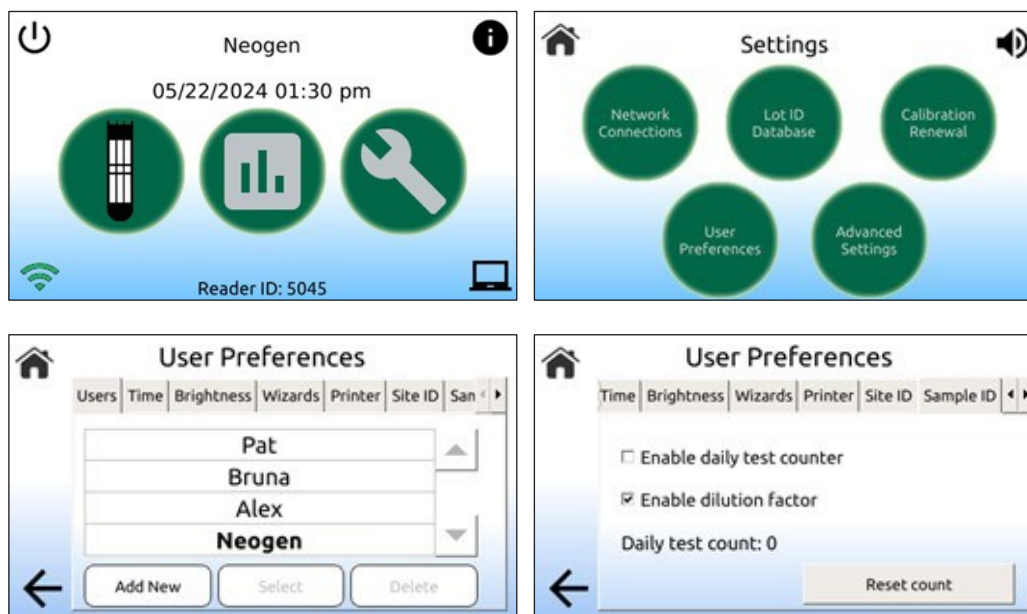
希釈係数機能

希釈係数機能は、オフラインで準備した希釈倍率を結果に反映させます。計算が完了すると最終結果が画面に表示されます。この結果をデータ分析プログラムに転送することができます。

画面で操作するためには、この機能を有効にしておく必要があります。

希釈倍率を有効にする

- ・ ホーム画面にて設定アイコンを選択します。
- ・ Setting 画面にて[User Preferences]を選択します。
- ・ User preferences 画面にて[Sample ID]のタブを押します。(矢印を使用してこのタブに移動します。)
- ・ [Enable dilution factor]にチェックを入れます。
- ・ ホームアイコンを押してホーム画面に戻ります。

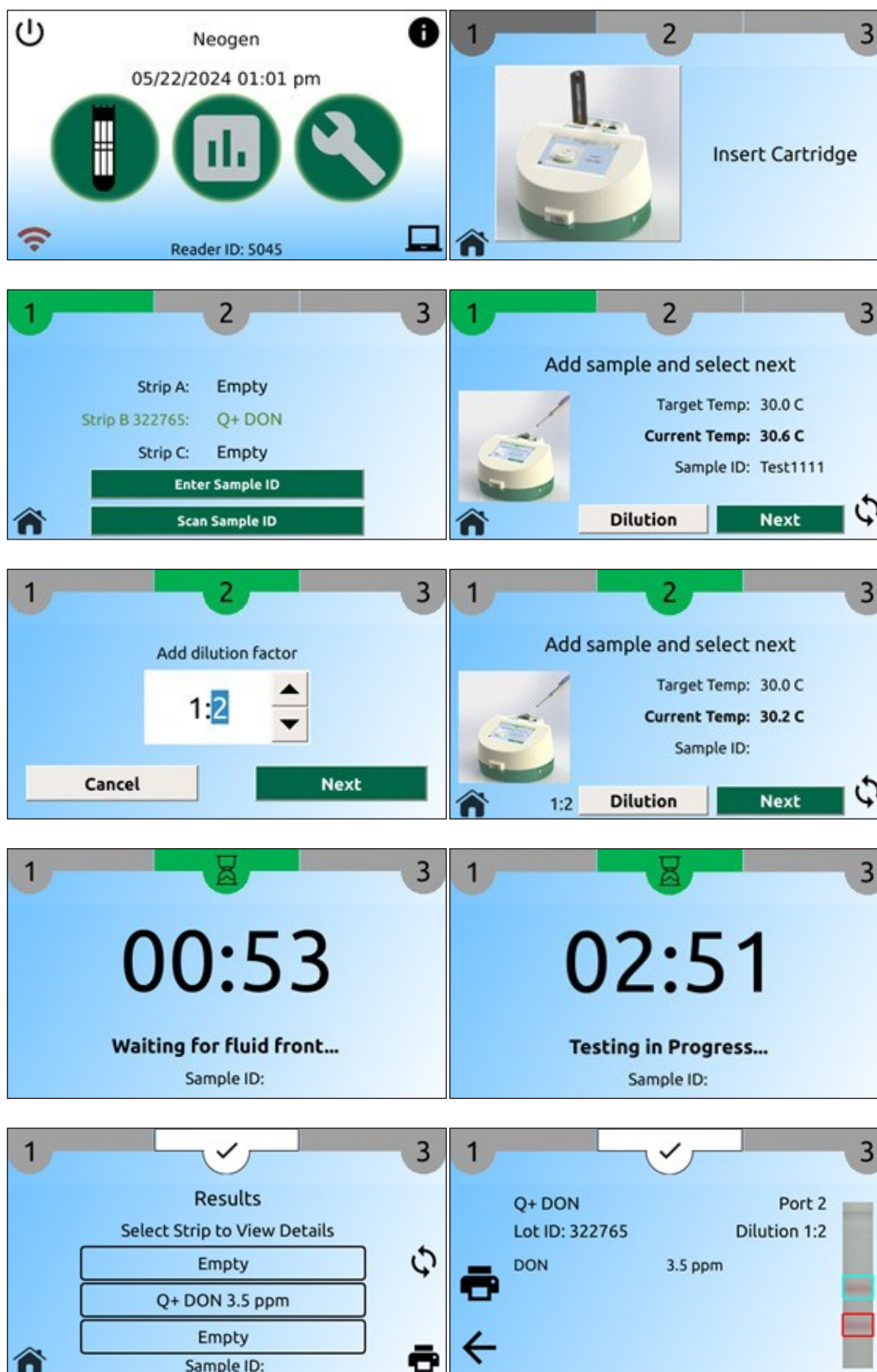


希釈係数機能を有効にしてアッセイを実行する

- ・ ホーム画面にて画面左側の計測アイコンを押します。ステップバイステップの手順による計測が開始されます。
- ・ Insert Cartridge 画面の上部にある 3 つの番号のついたタブは、どのポートの情報が表示されているかを示します。
 - 1、2、または 3 を押すと、対応するポートに切り替わります。
 - ✧ 各ポートにつき 1 つの検体を計測することができます。他の 2 つのポートとは独立して同時に実行することができます。
 - カートリッジにテストストリップを挿入し、いずれかのポートに入れます。
 - ✧ 装置が挿入されたカートリッジを認識し、カートリッジ内のテストストリップをスキャンします。
 - テストストリップのバーコードが識別されます。
 - ✧ 計測の情報はテストストリップのバーコードにリンクされます。
 - 装置にロット固有の情報がない場合、テストストリップのチューブの QR コードをスキャンするため

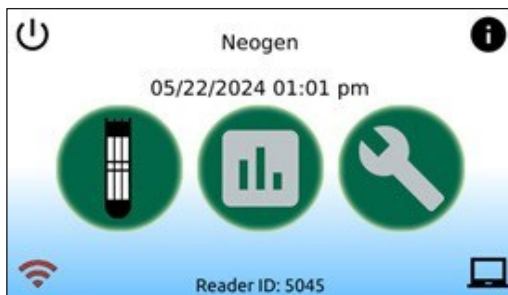
にバーコードスキャナーの電源が入ります。

- ✧ ロット固有の QR コードが記載されたチューブをスキャナーの読み取り範囲内に置きます。装置がデータを読み取り、カートリッジ内のテストストリップのロット番号を表示します。

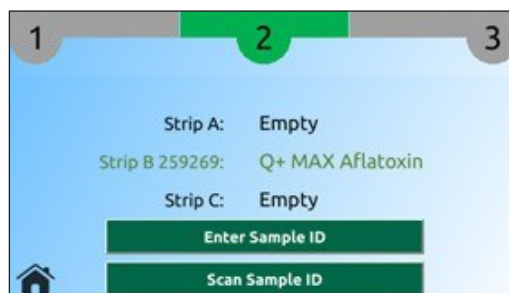
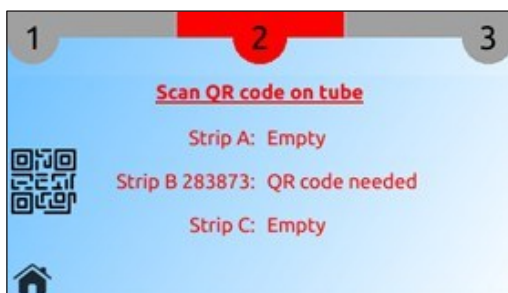


アッセイの実行

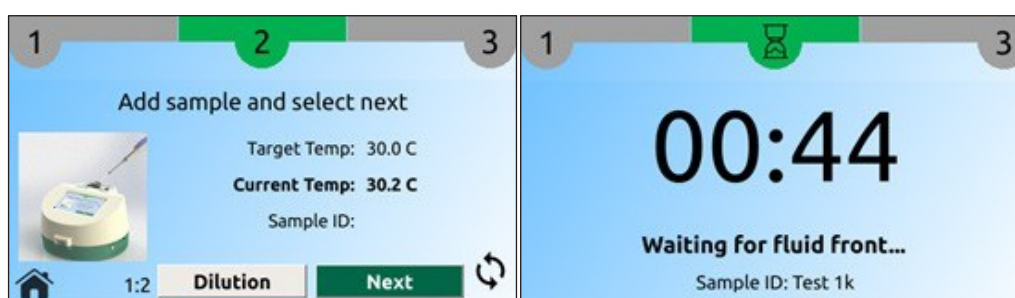
- ホーム画面にて画面左側の計測アイコンを押します。ステップバイステップの手順による計測が開始されます。
- Insert Cartridge 画面の上部にある 3 つの番号のついたタブは、どのポートの情報が表示されているかを示します。
 - 1、2、または 3 を押すと、対応するポートに切り替わります。
 - ✧ 各ポートにつき 1 つの検体を計測することができます。他の 2 つのポートとは独立して同時に実行することができます。
 - カートリッジにテストストリップを挿入し、いずれかのポートに入れます。
 - ✧ 装置が挿入されたカートリッジを認識し、カートリッジ内のテストストリップをスキャンします。
 - テストストリップのバーコードが識別されます。
 - ✧ 計測の情報はテストストリップのバーコードにリンクされます。



- 装置にロット固有の情報がない場合、テストストリップのチューブの QR コードをスキャンするためにバーコードスキャナーの電源が入ります。
 - ✧ ロット固有の QR コードが記載されたチューブをスキャナーの読み取り範囲内に置きます。装置がデータを読み取り、カートリッジ内のテストストリップのロット番号を表示します。
- 検体 ID のスキャン画面（Scan Sample ID）では、検体にバーコードを紐付けます。バーコードがない場合は、[Enter Sample ID]を選択し、キーパッドを使用して ID を入力し、手動で情報を入力することができます。[Accept]を押して次の手順に進みます。



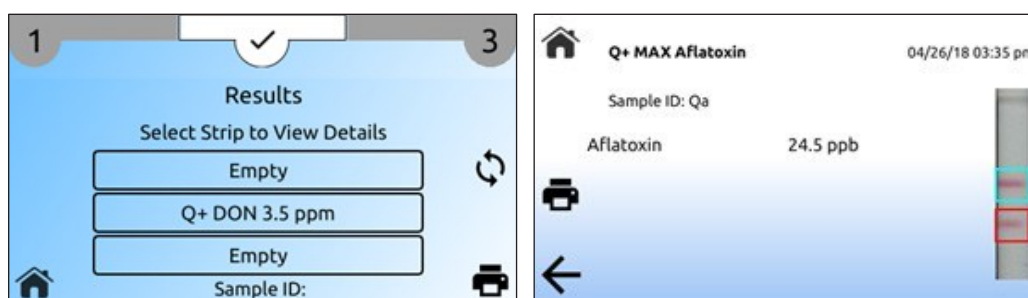
- ・ カートリッジに検体希釈液を加えます。
 - ピペットを使用して検体希釈液 400 μ L を採取し、カートリッジ上部の漏斗状の開口部に注意深く注入します。
 - ✧ 注意：検体希釈液は必ず 1 回で注入してください。（小型のピペットで数回に分けて分注しないでください。）
 - ✧ カートリッジには 1 本から 3 本のテストストリップを挿入できますが、検体希釈液の量は常に 400 μ L です。
 - [Next]を押します。液面が検出されるまで装置が自動的に待機した後にアッセイのタイマーが開始します。
 - ✧ 分析に必要な時間はアッセイごとに定められています。
 - ✧ 計測の残り時間がタイマーとして画面に表示されます。
- ・ 未使用のポートを選択し、そのポートに対してアッセイを実行することにより、同時に複数の計測を実施することが可能です。



- ・ 所定の時間が経過した後に自動的にテストストリップの画像が撮影され、分析された結果が表示されます。

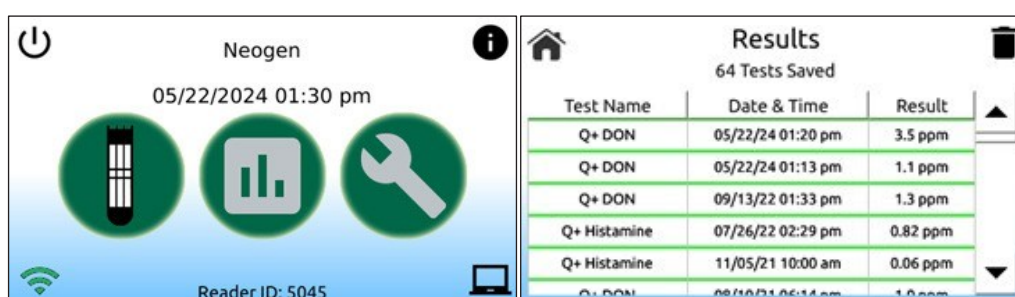


- ・ 結果の表示
 - カートリッジ内のテストストリップが分析されると、ポート全体の結果が画面に表示されます。音が鳴り、すべての結果の情報が装置に保存されます。自動印刷が有効になっている場合には結果が自動的に印刷されます。
 - 各テストストリップ（アッセイの名称と濃度が表示された部分）を選択すると、テストストリップの画像を含むより詳細な結果の情報が表示されます。
 - どちらの画面からもプリンターアイコンを押して手動で結果を印刷することができます。



結果の表示

ホーム画面の中央にある結果アイコンを選択すると、装置に保存されている以前の計測結果が表示されます。



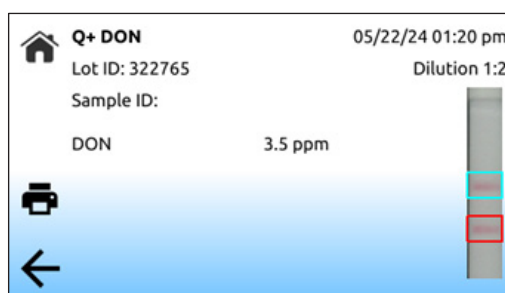
結果の画面では、各テストストリップの結果が個別に表示されます。各テストストリップの情報には以下の内容が含まれます：

- ・ テストストリップの種類
- ・ 計測の完了日時
- ・ 計測の結果

結果の一覧は、3つのカテゴリーのいずれかで並び替えることができます。

- ・ 結果を並び替えるには、列のヘッダーを押します。

個々の結果の行を選択すると、テストストリップの詳細情報が表示されます。



データマネージャー

データマネージャーソフトウェアは、Windows および Mac オペレーティングシステムにインストールできます。データマネージャーは Windows 7 以上のオペレーティングシステムと互換性があります。

ソフトウェアは Neogen のウェブサイト neogen.com よりダウンロード可能です。

ホーム画面

ソフトウェアを起動すると、アニメーションと Neogen ソフトウェア使用許諾契約書へのリンクを含むホーム画面が表示されます。

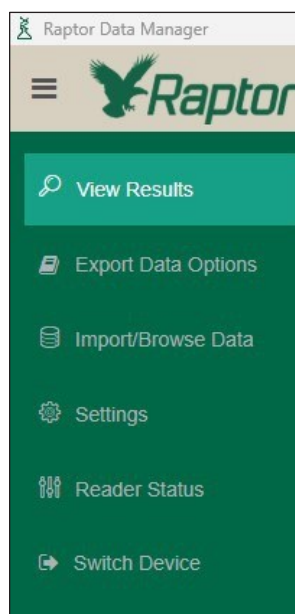
- ・ デスクトップ画面の Raptor Data Manager アイコンを選択して実行します。



- ・ ラプターを選択します。

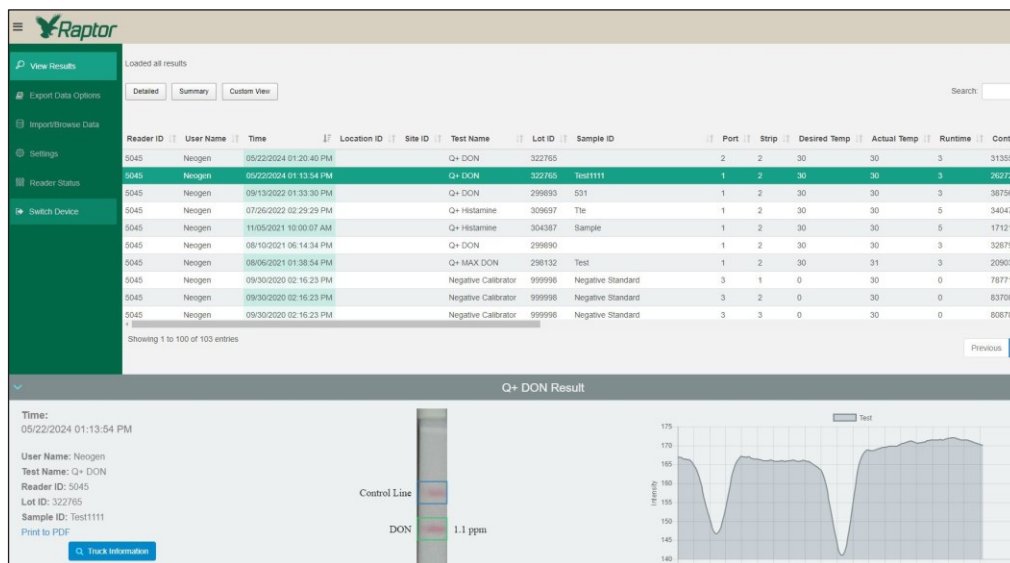


- ・ サイドメニューには6つのオプションがあります：



結果の表示 (View Results)

- 結果の画面には以下の表示設定があります：
 - 詳細表示 - 選択されているすべてのパラメータを表示します。
 - サマリー表示 - 限定されたパラメータを表示します。
 - カスタムビュー - ビューに表示する情報を選択できます。
- 画面右上には、関心のある情報を計測データベースに照会する検索ツールがあります。
- 各列のタイトルをクリックすると、データを昇順または降順に並べることができます。
- 特定の結果のデータ行を選択すると、画面の下半分に計測の詳細情報が表示されます。



- テストストリップの画像が含まれます。
- 計測の情報、グラフ、コントロールラインの強度が表示されます。テストラインとコントロールラインの強度が表示されます。
- Truck Information タブ（設定メニューで有効になっている場合）
 - 輸送に関する情報を入力できます。
 - Shipping Name FOB
 - Truck Information
 - Invoice/Ticket
 - Truck Destination
 - Travel Authorization/Discharge
 - Comments

Truck Information		
Time: 05/22/2024 01:13:54 PM	Shipping Name FOB Edit	Comments: Edit
User Name: Neogen	Truck Information: Edit	
Test Name: Q+ DON	Invoice / Ticket: Edit	
Reader ID: 5045	Truck Destination: Edit	
Lot ID: 322765	Travel Authorization / Discharge: Edit	
Sample ID: Test1111		

データのエクスポートの設定（Export Data Options）

データは一般的なファイル形式でエクスポートでき、さらなる分析やラボ情報管理システム（LIMS）への統合が可能です。

- ・ ファイルのエクスポート先を選択し、エクスポートするファイルに名前を付けます。（1. Save As）
 - 注意：ここではファイルの拡張子を追加しないでください。

- ・ データをフィルタリングします。（2. Filter Data）
 - エクスポートの前に日付の範囲と特定のカテゴリーのフィルターを適用することができます。

- ・ カスタム設定（任意）を行います（3. Custom Data Representation）
 - エクスポートの前にフィールド名を変更し、元のデータモデルに準拠させることができます。（例えば Username はあなたのシステムでは User ID かもしれません。）
 - Display の列にて、新しいファイルに転送する結果を選択します。

3. Custom Data Representation (Optional)			
Display	Data Name	<Default Title>	Enter Custom Title (Do NOT include <
☒	Reader ID	<readerid>	
☒	User Name	<username>	
☒	Time	<time>	
☐	Location ID	<locationid>	
☐	Site ID	<siteid>	
☒	Test Name	<testname>	
☒	Lot ID	<lotid>	
☒	Sample ID	<sampleid>	
☐	Port	<port>	
☐	Strip	<strip>	
☐	Desired Temp	<desiredtemp>	
☐	Actual Temp	<actualtemp>	
☐	Runtime	<runtime>	
☒	Control Line Intensity	<control>	
☒	Test Line # Name	<test#name>	
☒	Test Line # Test	<test#test>	
☒	Test Line # Ratio	<test#ratio>	
☒	Test Line # Result	<test#result>	

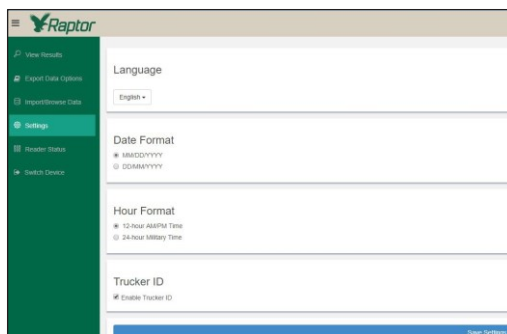
- ・ エクスポートの設定を行います（4. Export Setting）
 - エクスポートの頻度、ファイルの種類、特定のファイルにおけるデータの区切り方を定義します。
 - ◇ 注意：リアルタイムエクスポートは、ネットワークデータ転送でのみ使用できます。

4. Export Settings	
Export Format ☐ Excel (.xlsx) - Not supported for Real-time export ☐ CSV (.csv) ☐ JSON (.json) ☐ XML (.xml) - Not supported for Real-time export ☐ Text File (.txt)	Separator (only for TXT files) ☒ Tab ☐ ; (semicolon) ☐ , (comma)

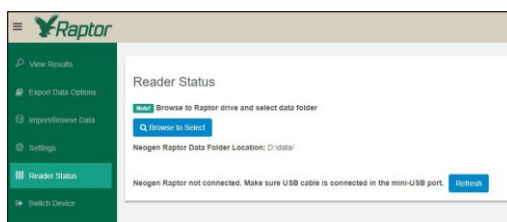
選択が完了したら[Save Export Settings]を選択して設定を保存します。[Export Now]を選択してデータをエクスポートすることもできます。

設定 (Setting)

- ・ 言語、時刻、日付の設定が可能です。
 - 現段階では日本語の設定はありません。
- ・ Trucker ID の機能を有効にすると、検体ごとに追加の情報を入力できます。



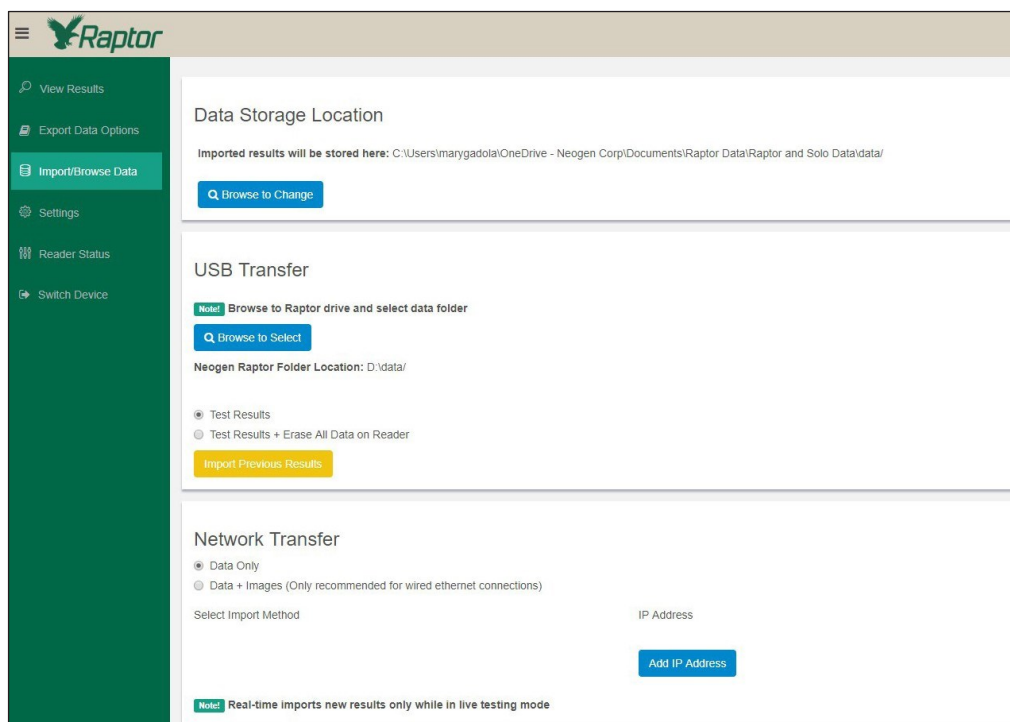
装置のステータス (Reader Status)



装置の切り替え (Switch Device)

メインメニューに戻り、ラプターもしくはラプターソロを選択します。

データのインポートと閲覧（Import/Browse Data）



データ保管場所（Data Storage Location）

- ・ 保存先のフォルダーを選択します。
 - 既存のフォルダーを選択するか、新しいフォルダーを作成します。
 - ✧ ここにデータファイルが保存されます。
 - 保存先フォルダーにはネットワークフォルダが選択できます。

USB 転送（USB Transfer）

- ・ USB ケーブル経由でのインポートも、データをコンピューターに転送するためのオプションです。
 - 製品に付属のミニ USB ケーブルをコンピューターに接続します。
 - コンピューターと装置の電源が入っていることを確認します。
 - ホーム画面の右下にあるコンピューターアイコンを選択し、Select Mode の画面にて[USB]を選択します。
 - 装置は大容量記憶装置として認識されます。「スキャンしない」を選択して続行します。
 - [Browse to Select]ボタンを選択し、ソースのフォルダーを選択します。
 - ✧ 注意：RAPTOR (D:)の data フォルダーを選択して続行します。
 - [Test Results]（計測結果を転送）もしくは[Test Results + Erase all Data on Reader]（計測結果を転送し装置上のすべてのデータを消去）を選択します。

- 黄色の[Import Previous Results]を選択してインポートします。
- プログレスバーにインポートの進行状況が表示されます。

ネットワーク転送 (Network Transfer)

- ・ ネットワーク接続経由のインポートは、有線ネットワーク接続を介してデータを転送します。
 - 装置の画面上の無線接続アイコンを選択し、装置に固有の IP アドレスを特定します。
 - 装置の IP アドレスを入力します。
 - 装置からデータを転送するには[Import]を選択します。
 - プログレスバーにインポートの進行状況が表示されます。

トラブルシューティング

ネオジェンまでお問い合わせください。

メンテナンス

一般的な注意事項

- ・ この装置には繊細な電子部品や光学部品が含まれているため、取り扱いには十分な注意が必要です。
- ・ 本機のタッチスクリーンをクリーニングするには、柔らかい布でやさしく拭いてください。スクリーンのクリーニングには、液体溶剤の使用は避けてください。

液体のこぼれ

- ・ 装置内に試料がこぼれた場合は、装置の電源を切り、検体カートリッジを慎重に取り出してください。装置を直立させ、余分な液体をポート開口部の真下にある底部の穴から排出させます。装置の下の液体を布で拭き取ります。装置の内部、インキュベーターに残った液体は、長い綿棒を使って清掃してください。
- ・ 装置の外装やその周辺に少量の液体をこぼした場合は、速やかに拭き取ってください。外部ポートやボタンに液体が接触していないことを確認してから操作を続けてください。
- ・ こぼれた液体の量が多く深刻な場合には、ネオジェンまでお問い合わせください。

技術仕様

電源

- ・ AC アダプターへの入力：100-240V、50/60Hz、1.7A
- ・ 装置への入力：DC 12 V、40 W

※ 本製品に添付の AC アダプターのラベルの内容をあわせてご確認ください。

寸法

- ・ 0.64 kg
- ・ 幅 18.5×高さ 10.8×奥行 16.9 cm



安全情報

修理

- ・ 本装置にはユーザーによる修理が可能な部品はありません。修理が必要な場合には必ずネオジェン指定のサービスセンターにご依頼ください。

電源

- ・ 本製品に添付の AC アダプターおよび電源コードとともにご使用ください。装置に AC アダプターの直流側のプラグを差し込み、交流側の電源コードをコンセントに差し込んでください。
- ・ 本装置は実験台の上に設置し、操作中に不用意に主電源から切断されないようにしてください。
- ・ 電源装置や組み込み情報技術機器などのコンポーネントは、特別な例外がない限り、指定された定格に従って使用する必要があります。

設計条件

- ・ 屋内専用
- ・ 高度：2,000 m 以下
- ・ 温度：5-40°C
- ・ 相対湿度：温度が 31°C 以下の場合 80% 以下、以降は温度とともに直線的に低下し、40°C では 50% 以下

注意：本装置またはその関連部品を製造者が指定しない方法で使用した場合、本装置が提供する保護が損なわれる可能性があります。

限定保証

ラプター テストストリップリーダーは材料および製造上の欠陥に対して 12 ヶ月の限定保証を提供します。購入者は、本製品の使用に起因するすべてのリスクと責任を負うものとします。本製品の商品性、目的適合性は保証されません。Neogen は、本製品の使用から直接的または間接的に生じる特別損害、派生的損害、費用を含むいかなる損害に対しても責任を負いません。

NEOGEN は、ネオジェン社の商標です。

ネオジェンジャパン株式会社

<https://neogen.jp/>

NEO-406-A (FS01490_0624)

